学校番号	１０１５

平成 31 年度　情報科

教科	情報	科目	社会と情報	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	最新社会と情報　（実教出版）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・普段の生活で欠かせなくなっている情報機器の使用について、身近な事例を用いて利便性や危険性を理解してもらい、使用する上でのモラルとルールをしっかり身につけてもらいたい。
・情報機器や情報通信ネットワークを適切に活用・利用し、情報を表現・処理できるようになってもらいたい。

2　学習の到達目標

・情報の特徴と情報化が社会に与える影響を理解させる。
・情報機器や情報通信ネットワークなどを適切に活用して，情報を収集、処理、表現させ、正しい情報を正確に収集できる力を育てる。
・効果的にコミュニケーションを行う能力を養い，情報社会に積極的に参画する能力を育てる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	情報や情報社会に関心をもち,身のまわりの問題を解決するために,自ら進んで情報及び情報技術を活用し,社会の情報化の進展に主体的に対応しようとする。	情報や情報社会における身のまわりの問題を解決するため情に,情報に関する科学的な見方や考え方を活かすとともに情報モラルを踏まえて,思考を深め,適切に判断し表現している。	情報及び情報技術を活用するための基礎的・基本的な技能を身に付け，目的に応じて情報及び情報技術を適切に扱っている。	情報及び情報技術を活用するための基礎的・基本的な知識を身に付け，社会における情報及び情報技術の意義や役割を理解している。
評価方法	学習状況の観察 ノートの記述 授業への参加状況 定期考査の結果 など	学習状況の観察 ノートの記述 授業への参加状況 定期考査の結果 など	学習状況の観察 ノートの記述 授業への参加状況 定期考査の結果 など	学習状況の観察 ノートの記述 授業への参加状況 定期考査の結果 など

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期(4月～5月)	情報社会とわたしたち	・情報社会 ・情報社会の個人 ・情報とメディア	○ ○ ○	○ ○ ○		○ ○ ○	a:情報社会に関心を持ち意欲的に学習に取り組もうとしている。 b:情報社会における問題に目を向け考察し、情報モラルを踏まえて判断している d: 情報化が人類に利益と幸福をもたらしていることについて理解する。また、情報科の特徴についても理解する。	授業観察 ノート提出 定期考査
前期・後期(6月～12月)	表現と伝達	・表現の工夫 ・表計算ソフトの利用 ・プレゼンテーション ・Webページの利用	○ ○ ○ ○	○ ○	 ○ ○ 	○ ○ ○ ○	a:情報を伝達する際の留意点に関心を持ち意欲的に学習に取り組もうとしている。 b: 情報表現における問題や工夫に目を向け考察し、判断している。 c:表計算ソフトやプレゼンテーションソフトの使用方法を理解し、実習に活かしている。 d:情報を表現するために必要な知識や技能を身に付けている。	授業観察 ノート提出 実習参加 定期考査
後期(12月～2月)	コミュニケーションとネットワーク	・コミュニケーション ・ネットワーク	○ ○	○ ○		○ ○	a:情報メディアの移り変わりに目を向け意欲的に学習に取り組もうとしている。 b:コミュニケーションの種類や違いについて起こりうる問題に目を向け考察し、判断している。 d:コミュニケーションやネットワークが与える影響についての知識が身に付いている。	授業観察 ノート提出 定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。